



市役所づくり編

糸魚川市議会議員

34
歳

もっとよくなる糸魚川

未来を魅せる。

討議資料

脱 消滅可能性自治体

2024年4月、糸魚川市が消滅可能性自治体として報道されました。これを受け、**市政の舵取りを担い、より直接的に未来を築く決意**をしました。

幸いにも、私だけでなく、同世代の仲間や市民の皆さま、若手職員も「**自分たちの未来を自分たちで創る**」という想いのもと、**行動を始めています**。また、市内には100年先も糸魚川の発展を願い、事業を展開する企業も多く存在します。

このまちが10年後、20年後、そして100年後も続いていくために、**私たちの世代が責任を持って郷土を受け継ぎ**、発展させていかなければなりません。そのために、ユネスコ世界ジオパークをはじめ

とする地域資源を守り、活かしながら、**若者や女性の視点を生かしたまちづくりを推進**していきます。

これは決して先輩世代の築いたものを否定するのではなく、むしろ**積極的に教えを請いながら、誰もが安心して暮らせる糸魚川を創る**ことです。

まずは課題を共有し、未来への共感を広げることから始めます。そして、「花ひらかば蝶自ずから来たる」の言葉を胸に、**行動力をもって全力で邁進**することを約束します。

伊藤 麗

徹底!

市民に寄り添う市役所づくり

選択肢を増やして、自宅でも施設でも、いつでも医療が受けられるまちへ

市民に寄り添い、特性に合わせた政策を進めるには、市民の皆様のお力だけではなく、市役所づくりが重要です。**市役所機能の充実を図り、市役所の働き方改革や業務の効率化・生産性向上を進める**ことで、本当に必要な**市民サービスの質向上**を図ります。

市民参加型を実現

会えるリーダー

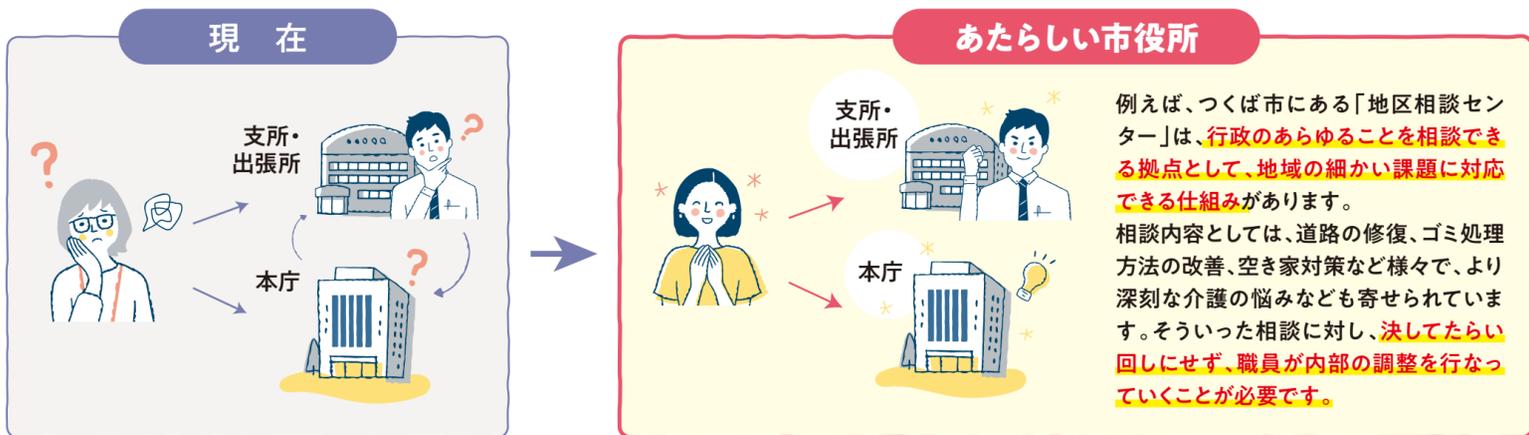
市民の皆さんが自由な懇談を行い、「ここに来れば少なくとも市長に会えて話したり、顔が見える」という場所の提供をいたします。



たらい回しにしない

「なんでもやろまい課」を設立

多課にまたがる課題を担当する若手職員メインで構成する(仮称)なんでもやろまい課設置



行政改革も推進

行政改革を実行して、行政サービスの充実

- 専門性を持つ職員の中途採用 (PR・DXなど)
- 職員研修の充実 (コーチングによる主体性の向上)
- 管理職の女性登用比率の向上
- 専門性を育てる人事配置
- 市役所の男性職員育休の推進・奨励
- 見直し財政の健全化を推進
- 人事評価制度の見直し



いつでも・どこでも

命をつなぐ「医療・介護」

糸魚川総合病院の急性期医療存続を全面バックアップ。さらに地域開業医への通院・訪問診療・デジタル化を市が積極的に支援します。

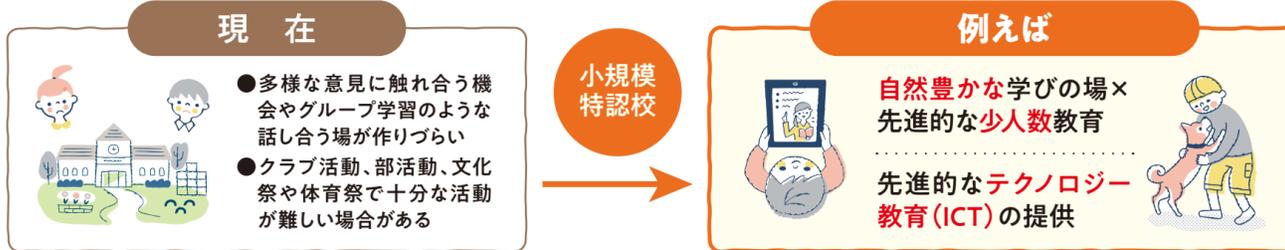


- 国の定める診療報酬制度に沿った市の支援
- 認知症や高齢になっても市内に住み続けられるまちづくり
- 介護・福祉施設の支援や誘致を行い、市民の健康はもちろんケア職種の働ける環境も両立

「出産・子育て」に選ばれるまちへ

世界レベルの「安心の子育て」

地域とのつながりを深め、まちぐるみで子どもを育てる環境づくり



小規模特認校とは 全国では自然豊かな学びの場×少人数教育が先進的な教育として注目。他自治体の先進事例も参考に、豊かな自然を活かし、子どもの主体性と感性を育む教育を推進



- 学校給食費の無償化
- 不妊治療・無痛分娩費への助成
- 全天候型の施設整備
- 多胎児家庭、ひとり親支援を拡充
- 土日や祝日保育の利便性向上
- 切れ目のない産前産後ケアサポート
- 市内で出産しやすい環境づくり(産婦人科設立助成)
- 病児・病後児保育/一時保育施設の整備
- 不登校の子ども・家庭の支援を強化
- 多様な学び、学校のあり方を検討
- 放課後の子どもの居場所を充実
- 部活や放課後の時間に地域や民間の力を活用

魅せるいとういがわへ

いとう れい (伊藤 麗) 34歳

平成2(1990)年6月 木浦 (旧能生町) 生まれ、能生在住
木浦小・能生中・高田高卒・日大商学部中退
夫と男の子2人の4人家族
趣味：裏千家茶道歴 14 年、お茶名「宗麗」を拝受

職歴

前 NPO 法人すいみい代表
元糸魚川総合計画策定委員
糸魚川市議会議員 (1 期)
総務文教常任委員会副会長

1990 (木浦出身)

- 恵み豊かな木浦で育つ
- 祖父：旧能生町長を6期24年務めた故伊藤仙太郎
- 兄・姉2人の4兄弟



幼少期・学生時代

- 地域のために働く祖父の背中を見て育つ
- 中学時バレーボール部所属。カラダを動かすのが好きな学生
- 日大商学部に進学するも震災を機に中退



社会人時代

- カウンセラーとして、2,000人余の女性の悩みに向き合う。様々な視点から物事を捉え、寄り添う提案で活躍
- 地元を想う気持ちが強まり、Uターン。能生地区公民館勤務の傍ら、個人サロンを開業



NPO法人時代

- 糸魚川総合計画策定委員になり、市政を身近に感じ、子育て世代が参画する必要性を感じる
- NPO法人すいみい立ち上げ。持続可能で“すみよい”を追求する社会課題解決型の法人を目指す
- サポートスタッフとして小学校に勤務。教育の現場を職員の一員として経験



市議会議員そして今

- 子育て支援、教育、福祉に最も重点を置き、多くの市民の声を市政に届ける
- 市内NPO法人の育成に関わり、子育て支援、空き家を活用したまちづくり、フードバンク設立など、幅広い活動を指導・実践

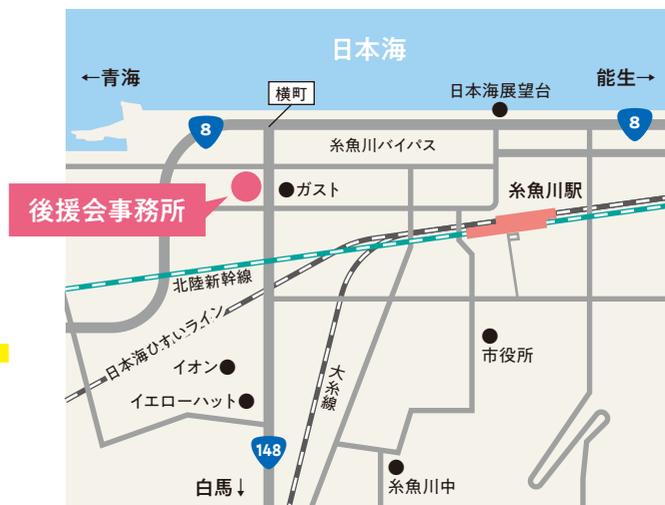


まちのために、大切な人の未来のために できることから、一緒にやりませんか？

いとうれい後援会では一緒に活動して下さる仲間を募集しています。
10年、30年、100年先の未来を見据えて、

どんな糸魚川を子どもや孫など大切な人に残してあげたいですか？

皆さんのアイデアを「いとうれい」にお聞かせください。
お近くにお越しの際は、お気軽に後援会事務所までお越しください。



いとうれいの活動はウェブでも発信中！

いとうれい後援会

〒941-0067 新潟県糸魚川市横町5-1-67
TEL.025-556-6767 / FAX.025-333-0223
✉ itoigawa.rei@gmail.com

公式HP



公式LINE @1940oec

X (旧Twitter) @itoreito



Facebook @itorei.desu

Instagram @itorei.desu

